



平成30年3月16日

各 位

上場会社名 株式会社 ニッチツ
 代表者 代表取締役社長 廣瀬 靖夫
 (コード番号: 7021 東証第2部)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 松井 慎一
 (TEL. 03-5561-6200)

特別損失の計上及び業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期の決算において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、当該特別損失及び最近の業績動向等を踏まえ、平成29年5月12日に公表いたしました通期業績予想及び配当予想につきましても下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 減損損失の計上

当社は資源関連事業にかかる結晶質石灰石部門において、採掘原石の黄色化等による出荷量減少等を勘案し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、固定資産の回収可能性を検討した結果、平成30年3月期第4四半期において減損損失約1億8千万円を特別損失に計上する見込みとなりました。

(2) 堆積場安定化工事引当金繰入額の計上

当社が過去に採掘を行っていた休廃止鉱山の堆積場において、耐震性強化等のための安定化工事内容が決定しましたことから、平成30年3月期第4四半期において堆積場安定化工事引当金繰入額1億2千3百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,200	450	460	300	141.16
今回修正予想 (B)	8,750	320	330	0	0.00
増減額 (B-A)	△ 450	△ 130	△ 130	△ 300	
増減率 (%)	△ 4.9	△ 28.9	△ 28.3	△ 100.0	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	9,360	433	472	179	84.31

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,500	420	430	280	131.75
今回修正予想 (B)	8,040	270	310	0	0.00
増減額 (B-A)	△ 460	△ 150	△ 120	△ 280	
増減率 (%)	△ 5.4	△ 35.7	△ 27.9	△ 100.0	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	8,718	421	515	305	143.63

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(3) 修正の理由

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、機械関連事業にかかる船用機器部門及び産業機器部門とも需要が弱含みに推移していること、資源関連事業にかかる結晶質石灰石部門において、採掘原石の黄色化等により出荷量が減少していることに加え、上記減損損失を特別損失に計上する見込みであること、及び休廃止鉱山の堆積場の耐震性強化等の安定化工事費を特別損失に計上する見込みであること等を勘案し、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想を修正するものであります。

また、個別業績予想につきましても、連結と概ね同様の理由により、業績予想を修正するものであります。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成29年5月12日発表)	—	—	—	30.00	—
今回修正予想	—	—	—	0.00	—
当期実績	—	3.00	—		
前期実績 (平成29年3月期)	—	3.00	—	3.00	6.00

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、平成30年3月期の期末配当金につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金の合計は「—」として記載しております。

修正の理由

平成30年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり30円と発表しておりましたが、上記業績予想の修正等を踏まえ、誠に遺憾ながら見送らせていただくことといたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒事情をご理解の上、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上